

# 自主防災力の強化

愛知県は5月30日に南海トラフ巨大

地震の新たな被害想定を発表しました。これは、県内の地盤などあらゆる要素、可能性を考慮したもので、岡崎市は震度7の非常に激しい揺れと甚大な被害が危惧されています。ただし、その場合でも建物の耐震化や家具などの転倒・落下防止などの減災対策で、

被害を約6割減らせると指摘されており、その対策の重要性を改めて痛感したところです。

このような状況のもと、今年度から各地域の自主防災組織に防災用資機材購入に対する補助制度を新設したところ、57団体からの申請をいただきました。多くの地域で自主防災力の強化に取り組んでいただき、大変心強く感じています。

本市としても、市民の皆さんの防災意識の向上を図るため、新たな被害想定を踏まえた防災マップを今年度中に作成し、全戸配布を行うとともに、想定内容を岡崎市地域防災計画に著実に反映させることで、実行性の高い防災対策を早急に進めてまいります。

被害を最小限にとどめるためにも、自助・共助・公助の更なる強化により防災力の向上に取り組んでいきます。

市長室より

Next!  
岡崎  
次の新しい おかざき

岡崎市長

内田 康宏

